

差出人: office-sic-alliance [office-sic-alliance@fed.or.jp]
送信日時: 2010年9月15日水曜日 10:44
宛先: 'office-sic-alliance'
件名: ご連絡: SiCアライアンス第1回総会結果ほか
添付ファイル: 第1回総会資料一式.pdf

S i Cアライアンス事務局です。

9月9日に開催された第1回の総会の様子をお知らせします。
ここで説明のあった、委員会への委員(候補)の届出および
T I Aパワエレ研究拠点キックオフ会参加登録については、
お忘れなきようお願いいたします。
また、年会費の請求書をお送りしました。よろしく申し上げます。

第1回の総会は、9月9日、新機能素子研究開発協会の会議室に
於いて、33会員(延べ59名)の出席を得て開催された。

松波弘之の会長から、S i Cの国プロジェクトがスタートするまでの
経緯や狙いについて思い出を含めて紹介があり、S i Cアライアンス
は各プロジェクトに横串を通す役割がある、大学には実用化開発に
対して学理面からバックアップする重要な役割がある、と、S i C
アライアンスの活動に期待する旨のお話があった。

S i Cアライアンスの概要、規約、事業計画・予算等の説明が続いた。

- ・事業としては、委員会活動を中心にアライアンスの活動を進めていく。各委員会に委員長、幹事、書記を置き、事務局のサポートを得て活動を進めていく。できるだけ早く委員会をスタートさせ、活動を本格化させる。
- ・取り上げるべき活動内容について、会員・先生方から直接意見を伺い、充実した活動を行えるようにしていきたい。
- ・会員には参加を希望する委員会を知らせて頂いているが、具体的に企画委員会、広報委員会の委員の候補者を9月25日(土)までにメールで知らせて欲しい。多すぎる場合には相談して絞り込むことがあり得る。
- ・会場から、各プロジェクトに横串を通すためには骨太の活動が必要である、研究現場では人・もの・情報が必要であり協力を期待しているなどの発言があり、S i Cアライアンスの具体的な活動に大きな関心もたれている。
- ・配付資料に基づき、産総研からT I Aパワエレ研究拠点のキックオフ会の説明があった。参加申し込みは、事前参加登録様式に従い、登録することが必要である(締め切りは9月22日)。

第1回総会に参加できなかった方には、資料を添付しました。

SiCアライアンス事務局

メールアドレス:

office-sic-alliance@fed.or.jp
